

旭丘高校周辺の野生生物の生態調査

7班：WHITE 青木恵里花 井島レイチェル

1. 研究概要

私達は7月から11月にかけて校内に数台の赤外線トレイルカメラを設置し、旭丘高校に侵入してくる野生動物の出没状況や侵入経路を調査した。その結果、主な侵入経路や季節ごとの出没件数、校内での行動が明らかになった。

2. 研究内容

(1) 目的や内容：野生動物がどこから校内に入り、どのような行動をとるのかを知り、侵入してくる野生動物による被害の実態を調査することを目的として研究を行った。

(2) 研究手法：目撃情報の多い場所や、侵入経路と思われる数か所にそれぞれ赤外線トレイルカメラを設置した。撮れた映像と写真を場所・日付・時間・写った動物ごとに仕分けし、グラフにまとめることによって傾向を読み取り、その動物の生態や侵入の特徴などを知る。

3. 結果

(1) 結果7月から11月にかけて学校の敷地内に数台の赤外線トレイルカメラを設置し、これまで、シカ66頭とキツネ17匹、アライグマ若しくはタヌキ1匹が映った。シカのオスとメスの割合をグラフにすると、メスの割合が70%を超えた。また、シカは時間帯によって出没頻度に差が生まれ、朝6時から夕方18時の校内に人がいる時間帯は敷地内に入らないが、夜19時以降は出没頻度が2倍以上になっている。月別に出没頭数を分けたところ、夏の7月から8月は殆ど映らなかったが、秋の9月から11月は侵入した頭数が増加した。更に、シカは主に野球グラウンド近辺の藪と、天空グラウンドに設置されているフェンスの穴から侵入していることがわかった。シカは時間帯によって出没頭数に偏りがあったのに対して、キツネは時間帯に偏りが見られなかった。天空グラウンドにSDカードを回収しに行った際、敷地内に入っているところを何度も目撃したことからも、人がいる明るい時間帯でも侵入していることがわかった。

4. 展望

定点カメラに映っていない日も校内でシカやキツネが目撃されたことから、他にも侵入経路があると予想できるので、フェンスが設置されていないところを中心にカメラを設置し、観察する。また、今回はカメラに映った数のみを数えていたため、個体識別が可能なら、学校に来る野生動物の個体は決まっているのかどうかを研究する。

5. 参考文献

- ①京都府立菟道高等学校科学部 「シカがくる学校 ～菟道高校とニホンジカの記録～」
- ②農林水産省 シカの生態と被害対策
(https://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/tyozyu/bousisaku/yobou/pdf/07_chapter_4.pdf)
- ③釧路市ホームページ>釧路市動物園>動物紹介>哺乳類>エゾシカ
(<https://www.city.kushiro.lg.jp/zoo/shoukai/1001527/1001528/1001536.html>)
- ④エゾシカの行動・生態－札幌市
(https://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/shika/seitai/index.html#tmp_header)